

# 令和2年度 市民と市長の対話集会 市長と語ろう！ほっとミーティング

## 開催結果報告書

- 1 開催日時 令和2年（2020年）11月16日（月）  
午後2時から午後4時まで
- 2 開催場所 市役所本館302会議室
- 3 参加者 平塚市自治会連絡協議会 連合自治会長5人
- 4 テーマ ウィズコロナ時代の地域活動とは  
～持続可能な地域運営について～



ほっとミーティングの様子

## 5 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。平塚市長の落合克宏です。本日はお忙しい中、「市長と語ろう！ほっとミーティング」に御参加いただきありがとうございます。

この「市長と語ろう！ほっとミーティング」は、市民の皆さんのお話を伺い、御意見や御提案を市政に反映することを目的として取り組んでいます。市長に就任した1期目は東日本大震災が発生した直後だったこともあり、安心安全をテーマとした対話集会を行いました。その後も各地域に直接伺い、それぞれの地域・世代と対話させていただいて、市民生活の向上やまちづくりの魅力アップのヒントをいただきました。

さて、新型コロナウイルス感染症は、市民生活全体に大きな影響を与え、皆さんも大変御不便をされている中で、市政に御協力いただいていることに対し改めて感謝申し上げます。

これまでの平塚の発生状況ですが、大きなクラスターも発生せず重症者数も大変少ない状況です。これは市民の皆さん、事業所・施設の皆さんの安全対策のおかげであると考えています。

コロナ禍における地域活動について、本市としましても緊急・総合対策の中で支援を行っていますが、各連合会長から地域の現状や課題、今後のあり方について御意見を聞かせていただきたく、ぜひ率直な御意見をよろしく願います。

## 6 主なミーティングの内容

### 【司会】

まず初めにコロナ禍における各地域の現状などお聞かせください。

### 【参加者】

3月以降、ほとんどの行事は中止にしてきました。その中で高齢者の体力低下、認知症リスクが心配です。10月以降徐々に再開する時期を探っている状況です。

### 【参加者】

夏のお祭り、地区レクは中止しました。ただし防災訓練だけは参加者を絞り3密対策を徹底して実施しました。安全対策には交付金を使わせてもらいました。今後の公民館まつりは芸能発表などを中心に工夫しながら開催する方針です。

### 【参加者】

当地域でもそろそろ活動を再開しようという機運も高まっています。ただ

し開催には賛否があります。

**【参加者】**

連合自治会の会合も開催できず、単位自治会長との交流も持てません。龍城ヶ丘の公園整備では住民から様々な意見があります。連合自治会としては意見集約・意見表明はしないとしていますが、それが反発を生み自治会活動へ弊害が出ることを危惧しています。市長には地域の皆さんの意見を聞きながら事業を進めていただきたいと思います。

**【参加者】**

行事の開催には賛否あります。先日の役員会でも新春の集いを開催するか意見が割れました。最終的には来年は見送ることになりました。

**【司会】**

3月以降行事ができていない現状をお聞かせいただきました。地域住民から行事がないことへの意見や、地域活動の基本となる地域のつながり、人と人とのつながりが少なくなっていることへの意見などありますか。

**【参加者】**

今後の行事を中止することは簡単です。役員も楽です。しかしそれでは自治会不要論につながってしまいます。実際ある大型マンションの自治会が活動を休止しました。ところが高齢者を中心に相談ができる場所がなくなり困っている住民も多い状況です。自治会活動を負担に感じる若い世代と分断が進んでいくことを危惧しています。

**【参加者】**

当地域の各活動団体に行事開催の賛否を問うアンケートを実施すると、おおむね実施に前向きな意見が多いです。3密対策はしっかり行った上で参加人数を絞って開催しています。

**【参加者】**

自治会の役員はなり手不足です。子ども会役員から選出してもらっていた時代がありましたが、数年前に子ども会そのものが解散して、ますます役員のなり手が不足しています。

**【参加者】**

私も加入率の低下を心配していますが、先日の研修で視察した地域では加入率が50%程度で、平塚はまだよい方であると気づかされました。ただし自治会のあり方、役割を見直していくべき時期と思います。一度整理されたガイドラインなども必要だと思います。メリットを感じないから加入しないとの意見もあるので魅力化も合わせて必要であると思います。

**【市長】**

今春に平自連役員との面談時に、コロナによって地域活動がどんどん衰退

してしまうとの御意見を受け、担当部に早急な対策を指示しました。広報ひらつかで地域活動の紹介記事を掲載したり、コロナ禍における活動支援のための交付金を創設したりしました。これからも自治会の役割、地域活動が活発であるという平塚の特色についてはしっかりと市民周知していきます。また安全対策の支援もしっかり継続したいと考えています。

**【参加者】**

行事の開催可否を決めるとき、市の指針は判断材料としてとても重要ですが、消極的なものが多いように感じます。市が消極的なのに開催してクラスターでも発生したら大変だ、との否定的な意見が必ず出ます。コロナを理由として行事をどんどん中止・縮小すると自治会不要論につながってしまうので、市からの交付金を活用して安全対策を実施して、できる限り開催する方向で検討しています。

**【参加者】**

自治会の役割見直し、魅力化などは大きな課題です。ぜひ協働推進課主体で検討を進めてもらえないでしょうか。

**【参加者】**

市の指針・方針はいつもトップダウンです。公民館運営も地域と協力するという割に、利用中止と伝達されるだけでした。市のイベント開催可否の指針を策定するときは、地域の意見も聞いてほしいです。3密対策などの安全対策は自治会もしっかりやっているのでもっと自治会を信用してほしいと思います。

**【市長】**

新型コロナウイルス感染症は国の指定感染症のため、国・県の対処方針に沿って、平塚市でも対処方針を策定し、対策を行っています。特に緊急事態宣言中は平塚市対処方針に基づいて各公共施設を利用中止としました。市から自治会への情報提供については課題があると考えています。平塚保健福祉事務所（保健所）は神奈川県が管轄しており、4月までは市町村別の発生状況も提供されませんでした。今でも各市の地域別の発生状況は提供されません。この点は市長会を通じて知事に申し入れをしています但未実現しているのが現状です。情報共有のあり方についてはまだまだ課題がありますので改善を検討します。

**【参加者】**

どこの学校で、どこの飲食店でコロナが出たらしい。など噂が噂を呼び、またマスコミの情報で不安を煽られる状況もあります。正しい情報共有は重要です。

**【司会】**

地域の担い手となる若い世代への関わり方として、何か取り組んでいることやオンライン環境の活用などがありますか。

**【参加者】**

龍城ヶ丘の公園整備について、反対派の中には若い世代もいて自治会として反対を表明するべきとの意見もあります。私は自治会が思想・信条、宗教、政治的案件には関与すべきでないと考えているので、連合自治会は会員から意見は聞くが、意見集約・意見表明しないと説明しています。しかし、この対応でも自治会に加入する意味がないと反発され、非加入・非協力につながるか危惧しています。実際に単位自治会ではこの点を心配して反対意見を表明した自治会がありました。

**【参加者】**

当地域でも数年前に市の大型事業への意見表明や要望等を頼まれましたが断りました。同じ意見を持つ人で団体を組織して活動したり、市議会議員への話をしてみたらどうですかとアドバイスする程度でした。中立性を保つよう心掛けました。

**【参加者】**

私も同意見です。寺社のお祭りも現在は自治会としては関与していません。

**【司会】**

自治会の役割などで困っていること。活動紹介などありますか。

**【参加者】**

市からの交付金を活用して、全400戸へマスクを配布することにしました。

**【参加者】**

若い人との関わりを通じて若い人の意見はとても参考になると感じました。もちろん全てを実現することはできませんが、違った視点からの意見は貴重です。

**【参加者】**

当地域もオンライン会議の提案があり、実施に向けてパソコン教室を開催して多くの人が参加しやすい環境を整えています。高齢者も興味も持っていて盛況です。今後の自治会活動には欠かせないものになると思います。特に情報発信には回覧板より早く安全であり、コロナ対策としても有効だと思います。

**【市長】**

オンラインを活用した情報発信として「ちいき情報局」の充実には力を入れています。また地域活動のデジタル化支援については、若い人の参加促進のために必要だと思いますので、担当部に指示をします。

**【参加者】**

「ちいき情報局」に小・中学校がスケジュールを掲載してくれるようになったことで、保護者や児童・生徒も見てくれるようになり、閲覧数が急増しました。

**【参加者】**

当地域も学校が下校時刻など情報を掲載してくれるので助かっています。

**【市長】**

子どもの教育環境のデジタル化も、コロナ対策として思い切って推進することにしました。GIGAスクール構想として、タブレットの1人1台配備、普通教室に65インチモニター設置などを進めています。

**【参加者】**

市からの情報提供も紙による回覧ではなく、データでの配布・閲覧が主体になっていくと自治会の負担軽減になります。

**【参加者】**

当地域もLINEのビデオ通話を活用して、連合自治会役員と懇親会を行いました。

**【参加者】**

当地域ではオンライン会議は難しいです。ただし子ども会などは活用していると聞いています。

**【司会】**

私もよく各地域の「ちいき情報局」を拝見させていただきます。各地域での行事の実施状況や工夫などを掲載していただけると、非常に参考になりますし、いい取組が広がっていくことになると思います。

**【参加者】**

行事は中止にすることは簡単です。市の方針が消極的であったり、否定的な意見にばかり気を取られると、何もできません。自治会長としてもリーダーシップが求められると自覚しています。開催するためには何が必要かという姿勢で取り組んでいきます。

## 7 市長によるまとめ

コロナ禍の中で皆さんが御苦勞をされながら、地域活動を行っていただいていることを大変ありがたく思いました。改めてお礼申し上げます。

まず市の役割としては市民の安心・安全を守るため、しっかりとコロナ対策を進めていきます。そして本日のテーマであった地域活動の支援についてもし

っかり取り組んでいきたいと思ひます。本日、情報発信のあり方、若い人の参加促進など率直な御意見やヒントをいただきましたので、それを踏まえて担当部に指示を出したいと思ひます。

私も市職員時代、公民館主事の経験があります。それぞれの地域が元気であることが平塚の特色であり、それが平塚を輝かせることにつながっていると思ひます。来年度の自治会活動のスタートまでに、自治会の意義・役割を整理して、スムーズなスタートが切れるように支援させていただきたいと思ひます。本日は率直な意見をいただきありがとうございました。

以 上